

サッカー16チーム熱戦

ヴィクサーレ沖縄ジュニアV

ヤンバルンチャーカップ



懸命にボールを奪い合う子どもたち=2月24日、21世紀の森ラグビー・サッカー場

【名護】少年サッカーの第1回「ヤンバルンチャーカップ」(主催・FCヴォルティダ沖縄ジュニア、特別協賛・どきどきツアーズ、どきどきヤンバルンチャー)が2月23、24の両日、21世紀の森ラグビー・サッカー場であり、FC琉球U-12、ヴィクサーレ沖縄ジュニア、比屋根FCなど県内のトップ招待チームや北部の名護ワイルドボー、

大北ヴァレンチなど16チームが出場し熱戦を繰り広げた。北部地区のサッカー底上げを図る一環で、5年生以下のチームで開催された。4グループに分かれて対戦。各リーグの1、2位が決勝トーナメントに進出し、優勝を目指した。初日は快晴。北部参加チームからは、予選リーグでハットトリックを達成した玉城尚



しましま+

良主将と前津和智さんいずれも名護小5年IIが所属する名護ドルフィンが決勝トーナメントへ進んだが、FC琉球U-12の厚い壁を突破できずベスト4になった。2日目の決勝戦は雨。FC琉球U-12(宜野湾市)とヴィクサーレ沖縄ジュニア(那覇市)が対戦した。両チーム無得点で、PK合戦もサドンデスになり、10対9でヴィクサーレ沖縄ジュニアに栄冠が輝いた。

(玉城学通信員)

2019年3月12日(火) 沖縄タイムス掲載

しましま+

料

と

ひ



木村 房祥さん(37)=右
シェイン キングさん(47)

少年サッカーを支援

ヤンバルンチャー杯スポンサー

北部地区の少年サッカーの底上げを図る第1回「ヤンバルンチャーカップ」のスポンサー「どきどきツアーズ」の沖縄名護支店とオーストラリア本社でそれぞれ社長を務める。キングさんは「オーストラリアでもクラブとアカデミーのスポンサーをしている」といい、木村さんは「名護市で大会ができて最高」とにっこりだった。

(名護、玉城学通信員)